

## 知財コンサルティングセンター（PCIP）セミナー報告

- (1) 日時： 2024年11月23日（土） 10:00～12:00  
(2) タイトル： 「生産・製造に関連した産学連携と知的財産」  
(3) 講師： 矢澤 孝哲 氏  
長崎大学大学院総合生産科学域（工学系）教授  
長崎大学研究開発推進機構産学連携コーディネータ  
長崎大学教育開発推進機構生涯教育センター  
(4) 場所： オンラインセミナー（Zoom）  
(5) 聴講者： 20名

### 概要：

生産・製造に関する産学連携により、知的財産権が共同で出願されることは多いが、これは知的財産の持つポテンシャルを十分に生かしているとはいえない。本講演では、知的資産・知的財産および知的財産権を活用した産学連携の方法について、実例を示しながら講演する。

### 内容：

#### (1) 知的所有物の創成と知的財産化

理想状態に対する現状課題について、フレームワーク等を用いながら適切に分析していくことによって、有効な解決策が見出され、発明が具体化されていく。

#### (2) 知的財産権の獲得と活用

知的財産権取得のためのアイデア発想法、創出されたアイデアの分析法を駆使していくことで知的財産権が獲得できる。

#### (3) 共同研究と実在する問題

共同研究において発生した問題に適切に対処していくためには、知財関連の知識が重要となる。

#### (4) 知的財産の研究開発への展開

知財分析を適切に実施していくことで、産学連携のマッチングを速やかに深化でき、共同研究に発展していく可能性が高まる。

#### (5) 長崎大学での知的財産教育

長崎大学の知的財産教育の事例を紹介。大学生にとって、就職活動等で役立つ知識が得られている。ジュニアドクターの取組においても小学生を発明者とする特許出願が実現されている。

### 所感：

発明を創出するための基本的な考え方を習得することが、産学連携促進には必要不可欠であることを理解し。そのためには知財教育がとても重要であると認識することができた。知財創出のノウハウをもつ技術者を増やしていくための方策を考えていく良い契機となった。

以上